DECISION

Protest

Request No.: 20

Heard Jointly With Number(s): 22

Event: 2022 全日本学生ヨット選手権大会 87th ALL Japan Intercollegiate Sailing Championship Race Number: 4
Hearing Schedule: 2022-11-04 17:40

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 20: 国際470級 - 国際470級 - JPN 4791 - 20 - 東京大学

国際470級 - 国際470級 - JPN 4800 - 71 - 日本経済大学

Request No.: 22: 国際470級 - 国際470級 - JPN 4800 - 71 - 日本経済大学 糸瀬雅玖翔

国際470級 - 国際470級 - JPN 4643 - 42 - 立命館大学

Witnesses: 東北大学(6) 加藤湧也 -立命館大学(42)の証言艇として

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Protest hailed

Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

Case20,22とも調停が成立せず審問となった。
両ケースは関連していると判断し、同時に審問を行った。
オブザーバーとして、日本経済大学 今村公彦氏が同席した。
トラッキングデータが艇71と42から証拠として提出された。

FACTS FOUND

470級第4レースの風速は５knotであり、波はチョッピ―だった。
20は第5レグを2マークに向けスターボードタックのクローズホールドで帆走していた。
71は第4レグをスターボードタックで風下に帆走していた。
42は71の風上１艇身、ハルの後半が71とオーバーラップしながら、風下に帆走していた。
71は20が５艇身になったところで20を回避するため30度ラフをし、5秒後にバウが42の中央部から30cmになったので、ラフをストップした。
42は71のラフに気づき、ラフをしたが、１2秒後に71との距離が30cmになった。
20は71のポート側中央より少し後ろの部分からの距離が１mになったとき、ジブがシバ―するほどのラフをし71のスターンを通過した。
3艇間に接触はなかった。どの艇もペナルティーを行っていない。

見取り図case20.png 1.81 MB

Diagram: Protest Committee diagram attached

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 11

風上艇42は風下艇71を避けていなかったため、規則11に違反した。
風上艇71は風下艇20を避けていなかったため、規則11に違反したが、それは42の規則違反のために強いられたためであり、規則43.1(a)により免罪される。

DECISION

Date & Time: 2022-11-04 19:34 JST

艇42をレース4において失格とする。

PROTEST COMMITTEE

Chaired By: Shota Utsumi (JPN)
Committee Members: Tsunagu Enami (JPN), Masaaki Tanaka (JPN)